

(別紙3)

秋田県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ
技術名	低密度地域における捕獲技術の確立
実証地域	秋田県仙北市
実証時期	令和4年5月～令和5年3月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

1 捕獲の状況

H29年度から指定管理鳥獣捕獲等事業に取り組んでおり、越冬地を中心に捕獲事業を実施しているが、捕獲効率が低い状況が続いている。

2 課題

県内では、全県域で目撃や捕獲はされているが、依然として低密度であるため捕獲効率が低い。こうした状況下で、効果的にニホンジカの生息数増加を抑制していくためには、越冬地における群れ単位での捕獲技術を確立する必要がある。

3 地域実証する技術の概要

1 目的

低密度下におけるニホンジカの効率的な捕獲技術の確立を目指す。

2 方法

ニホンジカの越冬地において、大型の囲いわなと誘引餌により群れ単位で捕獲する手法について実証する。

3 期待される効果

低密度地域における群れ単位での捕獲技術を確立することで、県内他地域への波及が期待でき、低密度下における捕獲強化につながる。

注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

- 県林業研究研修センター及び国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所と共同し、ニホンジカの越冬地として特定している仙北市田沢湖周辺において、立木を利用した網製囲いわなを設置した。
- 昨年度からの2地区（北岸、下村）に加え、新たに越冬利用が確認された二瀬沢地区を追加し、計3地区において、ヘイキューブや鉋塩による誘引捕獲を行った。
- また、群れ単位での捕獲を行うため、二瀬沢地区にICTを活用した遠隔捕獲装置を導入した。
- これまでの調査結果から、ニホンジカの高頻度利用域にわなを設置したが、令和4年度はわなまでの誘引ができず、捕獲実績がないまま終了した。（5月末まで実施）
- これは、積雪状況により対象とする群れの行動域が変わったことや、誘引餌の誘引効果が囲いわなに対する警戒心を緩和できなかったことが考えられる。
- 引き続き、痕跡調査や自動撮影カメラ等によりニホンジカの行動域を把握しながら、より効果的な囲いわなの設置場所の選定や、囲いわなの設置が難しい地域ではくくりわなを併用するとともに、誘引方法の確立を目指して、実証試験を継続していく必要がある。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

5 その他

--

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。



下村地区 わな設置状況

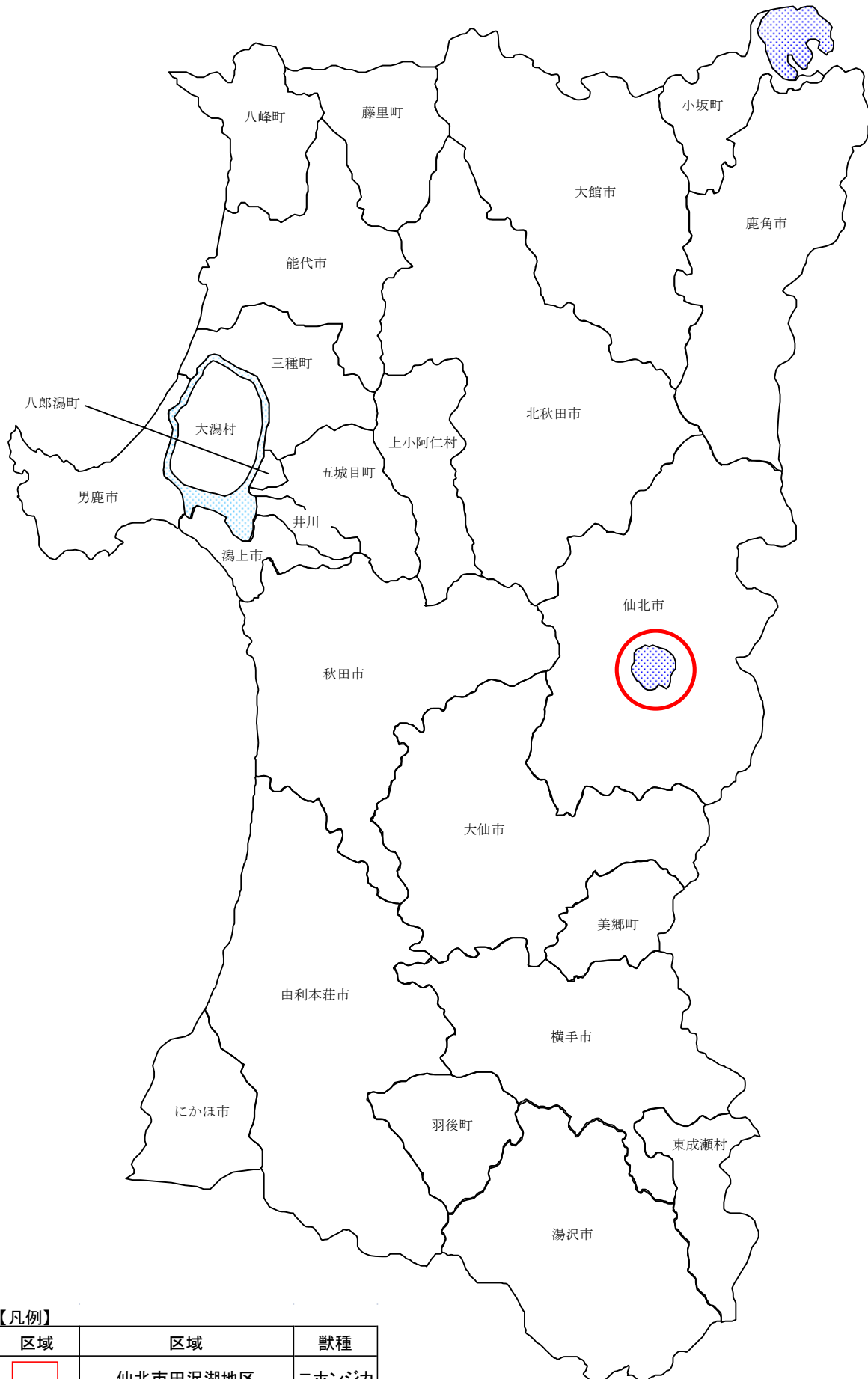


北岸地区 わな設置状況



二瀬沢地区 わな設置状況

令和4年度効果的捕獲促進事業実施位置図



位置図(詳細)

地理院地図
GSI Maps

